



社会福祉法人博愛福祉会 下牧こども園

TEL : 46-9381 Fax : 46-9382

発行 令和6年12月27日

下牧こども園保護者会の有志が美濃市駅伝に初出場



12月1日(日)は、上の写真のように晴れ渡る青空で、絶好の駅伝日和でした。参加されたのは、「大好きチーム(5人)」と「大爆笑チーム(5人)」の2チーム(計10人)です。もちろん、お父さんの晴れ姿を応援しようと、子どもたちやお母さん、中にはおじいさん・おばあさんの姿もありました。「今日の本番は後の懇親会だから、けがをしないように楽しめばいいから。」と言いついてはいるものの、襷をかけていざ走り始めるとそんな悠長な気持ちはどこにもない顔つきになっていました。襷を渡した時点で応援する方も力が入ります。下牧こども園の「大好き大発見大爆笑ユニフォーム」が視界に入ると「来たっ!」「ラスト!」「がんばって!」奥様方の黄色い声援がその場の空気をつんざく勢いでした。襷を渡した後の選手は、立っていることさえつらそうに、膝に両手をのせてうつ伏せのままです。その横顔に流れる汗は太陽の光を反射してとてもきれいでした。そんなお父さんに「がんばったね。」と背中にあてる子どもの姿もありました。仲間がつかない襷をかけて最後の5人目の選手がゴールする時には、みんなが手を挙げて次々にハイタッチをする光景が自然と生まれていました。

2つのチーム、10人もの園児の父親が、「下牧こども園大好きチーム」「下牧こども園大爆笑チーム」というネーミングの下で、「大好き大発見大爆笑ユニフォーム」を着て襷をつなぎ牧谷路を走る光景は、「下牧こども園の元気と結束をアピールする走る広告塔」にも見えました。有志の皆さんの本心がここにあったのでは考えさせられました。懇親会では、メンバーの方から送られた「園長先生、私たちにできることがあったらいつでも言ってください。」の言葉が泡と一緒に心にしみて十分に酔ってしまいました。